

ご挨拶

第125回日本医学物理学会学術大会 大会長
阿部 慎司

第125回日本医学物理学会学術大会は、2023年4月13日（木）から16日（日）の4日間にわたってパシフィコ横浜で開催いたします。本大会はJRC2023として、第82回日本医学放射線学会総会、第79回日本放射線技術学会総会学術大会、2023国際医用画像総合展（ITEM2023）と合同で開催することになりました。これまでご協力いただきました先生方には、心から感謝申し上げるとともに、多くの皆様のご参加をお待ちしております。

本大会のテーマは、“Be a Game Changer in Medicine with Radiology”です。ご存知のように、“Game Changer”という言葉には、物事の流れを変える人、あるいは大きなインパクトを与える革新的なものという意味があります。本大会は、放射線医学における新たな“Game Changer”を見出し、JRC2023を新たな潮流の転換点とすることを目的としています。本学会が医学物理学の発展に新たな視点をもたらし、これまで培ってきた物理学や工学の知識や成果をさらに医学の発展に生かす機会となることを期待しています。

COVID-19のパンデミックでは、学会で成果を発表し議論することがいかに難しいかを学びました。そこで、これまでの学会での経験を踏まえ、参加者が率直に研究成果を発表し、議論する場を設けたいと考えています。

JSMP125では、JSMPでは日本語による口頭発表、ICRPTでは英語による発表が行われます。また、国立大ホールでは「Innovations in Radiation Science in Medical Physics」と題したシンポジウムも開催されます。実行委員会およびJSMP委員会では、本大会の趣旨に沿った講演を企画しております。会員および関心のある会員の皆様には、日頃の研究成果を発表していただくとともに、活発な議論をしていただくことで、本学会に参加していただきたいと考えております。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

MICE（会議・報奨旅行・コンベンション・展示会）の拠点、パシフィコ横浜で盛り上がりましょう!!!